

科目名	解剖学 2						年度	2024	
英語科目名	Anatomy 2						学期	後期	
学科・学年	柔道整復科 1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	砂川正隆	教員の実務経験		有	実務経験の職種		歯科医師		
【科目の目的】 医療を志す者にとって基本的な学問であり柔道整復師として人体の構造を立体的に把握できることを目的とする。									
【科目の概要】 人体のしくみと成り立ちを学ぶ学問であり、疾病の原因またはその治療にあたる人には欠かすことのできない学問です。各器官を系統立てて学びます。									
【到達目標】 人体の構造を理解し、臨床医学を理解する上の基礎を培うことが目標となる。単なる名称の暗記ではなく、その構造の意味を常に考え、理解するように心がけること。									
【授業の注意点】 医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	消化器系について完全に理解している。	消化器系について大体的に理解している	消化器系について部分的に理解している。	消化器系についての理解がやや不足している。	消化器系について理解していない。				
到達目標 B	呼吸器系について完全に理解している。	呼吸器系について大体的に理解している	呼吸器系について部分的に理解している。	呼吸器系についての理解がやや不足している。	呼吸器系について理解していない。				
到達目標 C	泌尿器系について完全に理解している。	泌尿器系について大体的に理解している	泌尿器系について部分的に理解している。	泌尿器系についての理解がやや不足している。	泌尿器系について理解していない。				
到達目標 D	中枢神経系について完全に理解している。	中枢神経系について大体的に理解している	中枢神経系について部分的に理解している。	中枢神経系についての理解がやや不足している。	中枢神経系について理解していない。				
到達目標 E	末梢神経系について完全に理解している。	末梢神経系について大体的に理解している	末梢神経系について部分的に理解している。	末梢神経系についての理解がやや不足している。	末梢神経系について理解していない。				
【教科書】 教科書（解剖学－社団法人全国柔道整復学校協会監修－）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		解剖学 2			年度	2024
英語表記		Anatomy 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	消化器系7/消化器系8	消化器の種類①について。	1 胃	位置・構造・区分・役割・特徴について理解する。	3	
			2 小腸	位置・構造・区分・役割・特徴について理解する。		
			3 大腸	位置・構造・区分・役割・特徴について理解する。		
2	消化器系9/消化器系10	消化器の種類②について。	1 肝臓と胆道	肝臓の構造と機能、胆道の役割について理解する。	3	
			2 膵臓	膵臓の構造と機能について理解する。		
			3 腹膜	壁側腹膜・臓側腹膜、腹膜腔について理解する。		
3	呼吸器系1/呼吸器系2	呼吸器の働き・呼吸器系の構成①について。	1 ガス交換	外呼吸と内呼吸について理解する。	3	
			2 呼吸器系の構成	気道と肺について理解する。		
			3 鼻腔と副鼻腔	鼻中隔、上・中・下鼻道について理解する。		
4	呼吸器系3/呼吸器系4	呼吸器系の構成②について。	1 咽頭と喉頭	甲状軟骨・輪状軟骨・披裂軟骨・喉頭蓋軟骨について理解する。	3	
			2 気管および気管支	位置・構造・区分・役割について理解する。		
			3 肺	位置・構造・区分・役割について理解する。		
5	泌尿器系1/泌尿器系2	泌尿器の働き・泌尿器系の構成①について。	1 排泄	血液中の老廃物や不要物質を尿として排泄について理解する。	3	
			2 泌尿器の構成	腎臓、尿管・膀胱・尿道について理解する。		
			3 腎臓	位置・構造・役割・特徴・ネフロンについて理解する。		
6	泌尿器系3/泌尿器系4	泌尿器の構成②について。	1 尿管	位置・構造・区分・役割について理解する。	3	
			2 膀胱	位置・構造・役割について理解する。		
			3 尿道	位置・構造・区分・役割について理解する。		
7	神経系1/神経系2	神経系の基礎について。	1 神経系の区分と特徴	中枢神経系と末梢神経系について理解する。	3	
			2 神経組織	神経細胞とその支持細胞から構成について理解する。		
			3 髄膜	硬膜・クモ膜・軟膜について理解する。		
8	振り返り	後期1回～7回の講義の振り返り。	1 消化器系	胃・小腸・大腸・肝臓・膵臓について理解する。	3	
			2 呼吸器系	気道・肺について理解する。		
			3 泌尿器系	腎臓、尿管・膀胱・尿道について理解する。		
9	神経系3/神経系4	脳について。	1 構成	終脳・間脳・中脳・橋・延髄・小脳について理解する。	3	
			2 終脳・間脳	形態と機能について理解する。		
			3 中脳・橋・延髄・小脳	形態と機能について理解する。		
10	神経系5/神経系6	脊髄について。	1 脊髄	位置・構造・区分・役割について理解する。	3	
			2 上行性伝導路	体性感覚・視覚・聴覚・平衡覚・味覚・嗅覚について理解する。		
			3 下行性伝導路	錐体路と錐体外路について理解する。		
11	神経系7/神経系8	脳神経について。	1 脳神経とは	脳に出入りする12対の神経の総称について理解する。	3	
			2 構成	運動性線維、感覚性線維、副交感神経線維について理解する。		
			3 脳神経12対	主な支配領域について理解する。		
12	神経系9/神経系10	脊髄神経について。	1 脊髄神経とは	脊髄と末梢組織を連絡する神経の総称について理解する。	3	
			2 構成	前根・後根について理解する。		
			3 脊髄神経31対	主な支配領域について理解する。		
13	神経系11/神経系12	自律神経系について。	1 分類	交感神経系と副交感神経系について理解する。	3	
			2 交感神経系	主な支配領域について理解する。		
			3 副交感神経系	主な支配領域について理解する。		
14	振り返り	後期9回～13回の講義の振り返り。	1 神経系とは	中枢神経系と末梢神経系について理解する。	3	
			2 中枢神経	脳・脊髄について理解する。		
			3 末梢神経	脳・脊髄神経系、自律神経系について理解する。		
15	解剖学2のまとめ	後期の解剖学2全体の振り返り。	1 消化器系・呼吸器系	各構成と役割について理解する。	3	
			2 泌尿器系	働きと構成について理解する。		
			3 神経系とは	身体の諸組織・気管を連絡・調整する機構について理解する。		

評価方法：1. 小テスト、11. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等